

NPO法人

# 久喜の自然を愛する会

## 会報

NO. 33 2019年12月

### 会のモットー

- 1 足元から自然を学ぼう
- 2 <sup>いま</sup> 現在 ある自然を次の世代に残そう

### ★★活動の記録（写真版）★★

★ふれあいウォーク「吉羽天満宮」

2019年9月8日(日)



宮代運動公園駐車場での記念撮影



ハキダメギク



アレチヌスビトハギ



ミソハギ



ヒルガオ



ヤブツルアズキ



マルババコウ



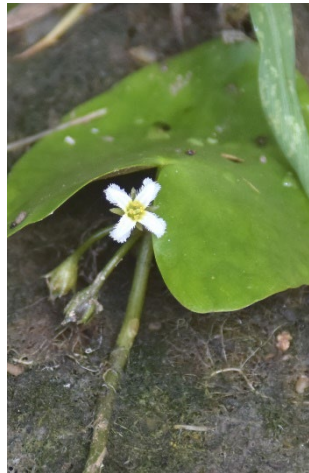
クサネム



ニガクサ



キクモ



ヒメシロアサザ



野草保護地での観察風景



ノジトラノオ



コアサガオ



センニンソウ

# ★デンジソウ保護活動

## 第2回保護活動

2019年7月12日(金)



デンジソウ



雨中の記念撮影

## 第3回保護活動

2019年11月8日(金)



記念撮影



ワミのアンブレラ



作業風景



意見交換会

# ★自然観察バス旅行「群馬県21世紀の森」



21世紀森での記念撮影



はい到着しました



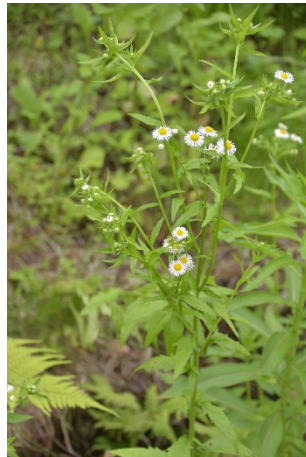
ブルーベリー



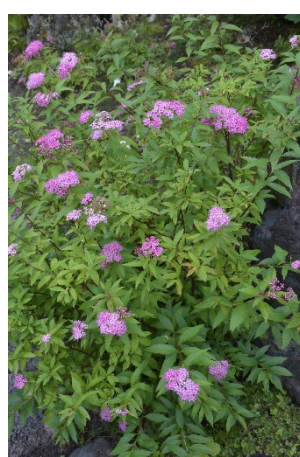
昼食風景



ノニガナ



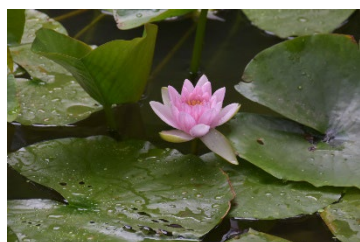
ハルジオン



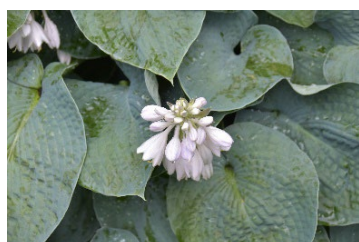
シモツケ



マムシグサ



ハス



ギボウシ



コボズオトギリ



運転手さん



タイマツソウ



ツボサンゴ



トリアシショウマ



フジバカマ

## ★ビオトープ活動状況

**ビオトープ便り(令和1年10月4日)**

ビオトープに小鳥の巣箱をつけました。  
3年2組のみんなと一緒に6個の巣箱を作り、  
取り付けました。(令和1年10月1日)

山本先生が巣箱  
取り付け中です  
ビオトープ1個目

金づちトントン  
作っています

巣箱ココだよ

ビオトープ2個  
目の巣箱です

巣箱ココだよ

巣箱ココだよ

4個目の巣箱です  
ビオトープ南側の枝  
庭です

巣箱ココだよ

巣箱ココだよ

5、6個目の巣箱です  
北側駐車場です

どんな小鳥が入  
ってくれるかな

鳥たちは秋～冬にねぐらとして利用します。  
子育ては春(4月～7月頃)で親鳥はとても神経質になります。  
なるべく遠くから見て驚かせず静かに見守りましょう。

### 小鳥の巣箱を作ろう



- 巣箱を作るときに大事なこと。
- ・巣箱の大きさ縦横15cmくらい
  - ・入口の大きさ3cmくらい
  - ・入口の下に止まり木
  - ・雨が入らないように
  - ・雨が入らないように
  - ・排水穴を作る
  - ・木の高さ2.5mくらいに取り付ける

鳥たちは秋～冬にねぐらとして利用します。  
子育ては春(4月～7月頃)で親鳥はとても神経質になります。  
なるべく遠くから見て驚かせず静かに見守りましょう。

鳥	巣穴の大きさ	
シジュウカラ、ヤマガラ	2.8 cm	これらの鳥は学校や公園の木、お家の庭木などに来ます。大きさはスズメと同じくらい。
コゲラ、スズメ	3.0 cm	
ヒヨドリ	4.0 cm	ヒヨドリは大きいです。



# ★野草保護活動

6月 ★ 東側 9名



★ 西側 5名

7月 ★ 東側 7名



★ 西側 5名



8月 ★ 東側 7名



★ 西側 5名



9月 ★ 東側 7名



★ 西側 4名



10月 ★ 東側 8名



★ 西側 8名



# 放課後子供教室教

7月6日 本町小学校 ザリガリ釣り



10月5日 太田小学校 ドングリ遊び



10月7日 東鷲宮太田小学校 ドングリ遊び







## ★★活動の記録★★ 2019年前半～2019年後半

### ★自然観察バス旅行「群馬県21世紀の森」 2019年7月4日(木)

松本

久喜駅東口に集合し、雨の中、予定通り8時にバスで出発。9時半頃になると雨は小降りとなり、最初の目的地である川場田園プラザに着いた頃は、すっかり上がっていた。近くのブルーベリー公園は、無料でブルーベリーを食べる事が出来るところです。木に生っているブルーベリーを初めて見た。まだ時期は早いですが、熟している実を見つけて、沢山食べた。物産センターのベンチで昼食をとる。ビールを持参した人がいて、ご相伴に預かり、楽しい食事となりました。

昼食を済ませ、今回の旅行の目玉である「群馬県立森林公園21世紀の森」に向かう。

資料には、ここは群馬県北部の沼田市と川場村にまたがる森林公園で、平成10年10月11日に開園された。平成10年5月には第49回全国植樹祭が、平成22年10月には第34回全国育樹祭が公園内の「森の広場」を中心に開催された。式典が開催された「森の広場」では、天皇、皇后両陛下がお手植えをされ、皇太子殿下がお手入れをされたスギやヒノキなどを見ることが出来るほか、ログハウス展示棟からは赤城山、榛名山など群馬県を代表する山々を一望することができる云々と書かれている。今日はイベント等も開かれておらず、閑散としたものでした。バスの運転手さんがオカリナを奏で、皆さん聞き入っていました。

次に、青龍山吉祥寺に向かう。ここは拝観料が必要です。有料なだけあり、沢山の植物を見る事が出来る。初めて見る花も多く、特に赤いタイマツソウが記憶に残った。北米原産でタイマツバナとも呼ばれ、シソ科ヤグルマハッカ属との事。薬効としては、鎮痛・鎮静・鎮痙作用があるそうです。

最後は恒例の造り酒屋見学です。土田酒造と言い、明治40年(1907年)創業で、誉国光と言う銘柄を販売し、関東で唯一の名誉賞を受賞した酒蔵だそうです。私は土産に、ゆず酒を買いましたがまだ飲んでいません。

帰りは、沼田ICから高速に乗り、全員無事に久喜に着きました。このバス旅行のため、下見や準備をされた幹事さん、お疲れ様でした。

#### [今回の旅行見る事が出来た植物]

##### 21世紀の森

ツルアジサイ、ホウノキ、タケニグサ、セイヨウタンポポ、ノニガナ、マムシグサ、ムシトリナデシコ、ハルジオン、フタリシズカ、オトコエシ、フジバカマ

##### 青龍山吉祥寺

クリンソウ、ユキノシタ、ミズバショウ、オダマキ、タイマツソウ、センダイハギ、ギボウシ、ヤマユリ、シャクヤク(実)、ハス、ツボサンゴ、オミナエシ、シモツケ、クガイソウ、マルバギボウシ、シラネアオイ、ウマノアシガタ、コボウズオトギリ

### ★第2回デンジソウ保護活動 2019年7月12日(金)

松本

朝起きると、あいにくの雨、とにかく集合場所の鷲宮支所駐車場に行く。ほとんどの方は来ている。保護地に移動すると、すでに小雨の中を刈払機で草を刈っている。新たに購入した長い柄の鎌で長いイネ科の植物等を刈る。鎌の切れ味はよい。参加者は埼玉県2名、久喜市2名、辻さんと会員11名の合計16名。雨の中、皆さんの頑張りで、1時間ちょっとで、作業は完了した。終了後、支社会議室を拝

借し、弁当を食べながら、懇談を行った。

## ★ふれあいウォーク「吉羽天神」2019年9月8日(日) 9時00分～

木下

9月といってもまだ酷暑の夏といったこの日、午後からは台風13号の接近が予報されていましたが、幸い天候は晴れ。ことし最後のふれあいウォークが無事開催されました。参加者は24名。うち一般参加者5名。講師は藤浪会長。

宮代町運動公園駐車場を定刻にスタート。水田にはすでに水がなく、例年見られる水生生物の姿は確認できませんでした。道路わきにマメアサガオの小さな白い花。紫もあるそうです。そしてこの季節はイネ科が繁茂。メヒシバ、オヒシバ、コスズメガヤ、イヌビエ・・・。茎や葉を揉むとレモンの匂うウシクグ、コゴメカヤツリ、ホタルイとカヤツリグサ科もいろいろ見られました。

中落堀川の橋の袂では野生化したヤナギバルイラソウ(紫伊勢花火)の花が咲いていました。無農薬栽培している水田にはわずかながらヒメシロアサザの花が確認されました。下水道処理場脇の草地ではキツネノマゴ、ヤブツルアズキの花が咲いていました。

鬱蒼とした吉羽天神の神苑ではムクロジの大木。周縁にはアオツヅラフジ、かろうじてヒヨドリジョウゴとセンニソウも確認できましたが、これから先はどうなることでしょうか。「ふれあいウォーク吉羽天神」は名のごとく、この吉羽天神の周縁の植物を保護・観察することから始まったそうですが、市の保存地区に指定されてから逆に保全状況が悪化しているようです。

この耕作放棄の草地ではイヌビエ、イヌタデ、タマガヤツリ、ヒナガヤツリ等々。いつものところにマルバルコウソウを確認。この季節もけっこう花が多く見られた印象です。(書ききれません)

野草保護地は毎月の活動の成果、ノジトラノオ、フジバカマ、センニンソウ、オグルマ、キンミズヒキ、ミズヒキ、クマツヅラの花を觀賞しました。ニガクサは口に含むと、やはり苦みがありました。大人の苦みだそうです。残念ながら秋の七草のカワラナデシコ、ワレモコウの花は見られませんでした。桔梗以外は全て目にすることができました。

この先の例年のコースは通行できなくなったので、帰りは圏央道の側道を歩いて朝の集合場所に戻り、ミーティング。予定時間を超えましたが、長いコースを皆さん元気に歩き切りましたね。

### 《 当日出席者の主な感想 》(文責会田)

石井孝江(一般) 参加させて頂いて有難うございます。今日は絶滅危惧種を何種類か見せてもらった。何とか残って欲しい。保存についての活動ご苦労様です。

篠原吉則(一般) 参加させて頂いて有難うございます。家にはえている雑草の名前が分かってきました。勉強させて頂いて有難う。

黒須学(一般) 今日は皆さんに教えてもらった。絶滅危惧種の指定を市がやっているのを知らなかった。もっと皆に報せて、協力して貰ったらどうか?

福田登美子(一般) 今日はお世話になりました。貴重な機会を有難うございます。天神様にもお参りできて良かったです。

## ★第3回デンジソウ保護活動

2019年11月8日(金)

松本

天気快晴。県1名、市2名、鷲宮の辻氏、当会14名の計18名が集結。デンジソウ保護地の隣は分

譲住宅地化への工事も終え、 $x \times m^2 - x \times x \times x$ 万円の看板が並ぶ。今年は台風15・19号や秋の雨が多かったため、保護地は長靴が潜る程にぬかるんでいる。デンジソウの為には良いことです。

宝泉池に近い場所は長い鎌で、反対側は刈払機3台で草刈り開始。直ぐに市の2台が参戦。5台の刈払機で草刈りを行ったので、1時間弱で作業は終了した。デンジソウは前回(7月12日)時に比べると生育する面積を広げており、大きなイネ科植物を切り倒した成果が現れていると思われます。

記念撮影後、支所の会議室で、意見交換会を行う。

## [意見交換会]

藤浪代表の挨拶

- 久喜広報で、今回の保護活動の募集をしたが、一人も参加者はいなかった。
- 保護地の隣に宅地が建つ。これから環境がどうなるかは不明です。
- 隣の宝泉寺池より水を引く為の設備が、保護地に取り付けられていた。
- 刈払機を補助金で購入した。デンジソウの保護がメインだが、東西の保護地での作業で使用しても良い。
- デンジソウの保護活動について、行く行くは会でやって行ければ良いと思う。
- 県からの補助金は、いろいろと縛りが多い。NPO法人からの補助金を検討している。これは人件費で使うことが認められている。

各会員から、次の意見が出ました。

- デンジソウと近くのとを組み合わせた「デンジソウ見学会」を開きたい。
- 緑のトラスト基金  
平成29年に募集されたものが、県でまだ整理されていないため、久喜市にその話がきていない。
- 現在の保護地は高橋さんが所有している。子息も好意的であるが、地主さんに今後も保護地を使える様に、挨拶が必要です。
- 保護地を県で買い上げて欲しいですね。
- うちの会も会員が高齢化している。
- 今回、刈払機が作業に5台入った。刈払機の間隔は10メートルは空けたい。作業に入る前に、打合せが必要です。
- 刈払機を使用する場合、30分使用したら休憩が必要。
- デンジソウは4×5メートル位の広さに生育していた。もう少し広がれば、他と組み合わせて、観察会が出来るのでは。
- これだけのデンジソウでは、人を集めるのは難しい。仲間達で、どれだけ人が集められるのか。
- 今の状態では長靴で入らなければ、見る事が出来ない。木道が必要。

長須先生から、デンジソウを発見した当時の経緯を伺いました。

以前は、保護地の田んぼにはデンジソウが生育していたが、いつの間にか姿を消してしまった。それからだいぶ経ち、鷺宮図書館の館長をしていた時、昼休みに偶然デンジソウを発見したとの事です。

平成4年(1992年)11月7日(土)の毎日新聞には、絶滅?水生植物「デンジソウ」を確認、館長の長須さん、鷺宮の沼付近で、実地調査で偶然発見と大きく報道されました。

## ★ゆうゆうプラザ活動報告（令和元年7月～10月）

宮川

実施日時	学校名	参加生徒数	会からの参加者	活動内容
7月6日（土）	本町小学校	12名	4名	ザリガリ釣り
7月8日（月）	東鷲宮小学校	16名	4名	ザリガリ釣り
9月2日（月）	東鷲宮小学校	16名	5名	植物観察
9月9日（月）	太田小学校	11名	3名	植物観察
10月5日（土）	太田小学校	12名	5名	ドングリあそび
10月7日（月）	東鷲宮小学校	16名	6名	ドングリあそび

## ★太田小学校ビオトープに小鳥の巣箱

ビオトープ委員 柏木

残念です。ビオトープのヒマラヤ杉が台風のため倒れました。昨年は3本、今年は1本、8メートル位の木です。

今年は嬉しいことがありました。小鳥の巣箱を6本の木に取り付けました。小鳥の小箱制作は、星野ビオトープサポーターです。山本先生の授業時間に巣箱を完成させました。3年生32名がクギ打ちをして完成させました。

来春が楽しみです。

## ★今後の日程

七草採取	令和2年1月6日（月）	10時00分	ロジャース駐車場
七草がゆの会	令和2年1月7日（火）	10時00分（会員は9時）	太田集会所
野草写真展「題名なし」	令和2年3月1日～7日		久喜中央公民館

## ★久喜の自然を愛する会のホームページのURL紹介

URLを変更しました。なお以前のURLも使えます。

<http://kuki.g1.xrea.com/>

久喜の自然を愛する会 検索 でも閲覧出来ます。

## ★編集後記

- \* 今年は台風による被害が大きかった。台風15号が千葉県に上陸し、千葉県に多大な被害を与えた。台風は一般に9月末上陸するが多いが、季節外れの10月12日に上陸した台風19号は大量の雨を降らし、関東甲信越から東北地方にかけ、未曾有の被害をもたらした。今年は10月になっても日本近海の海水温が下がらないため、台風はエネルギーを保ち続け、超大型のまま、日本列島に上陸した。
- \* 気象庁の発表によると、「12月～3月にかけてのこの冬は全国的に平年並みか平年よりも気温が高く、暖冬の可能性があります」との事です。
- \* 現在の会員数 51名

NPO法人久喜の自然を愛する会会報 NO33

2019年12月発行

発行 特定非営利活動法人久喜の自然を愛する会

発行人 藤浪 康義

編集人 宮川 俊治

松本 春勇